



施設名 世界自然遺産『白神山地』周辺実績

施設紹介

白神山地は、秋田・青森県にまたがる広大な山地帯で世界最大級の原始的なブナの自然林には多種多様な動植物が生息・自生するなど貴重な生態系が保たれており、1993年(平成5年)12月に世界遺産(自然遺産)に登録されました。ソフィールは登山道入口など周辺5箇所に設置されております。

物件概要

- 施工場所：①秋田県藤里町4ヶ所
②青森県西目屋村1ヶ所
- 施工年月：右図参照
- 発注者：①藤里町役場
②青森県弘前県土整備事務所
- 施設概要：公衆トイレ、キャンプ場
- 人 槽：22～128人槽
- 処 理 水：循環利用
- 1次側電源：太陽光発電、風力発電、発電機等



採用のポイント

世界遺産に登録されてから観光客が増え、トイレ整備の必要性が生じた。しかし、現場は水道・電気がなく、また冬期は雪で閉鎖される条件であることから、様々なシステムが検討された結果、季節変動に強く、小規模なソーラーシステムで稼働できるソフィールが採用となりました。



岳岱 案内板



くるみ台野営場

実績写真



小岳 土壤浸潤槽



駒ヶ岳 発電システム